

社会技術特論 (Topics of Social Technology)		2 年・後期・2 単位・必修 3 専攻共通・担当 押田 至啓	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B－2（80％）、D－2（20％）	〔JABEE 基準〕 (d－1), (d－2 d)	
〔講義の目的〕 技術者としてのバックグラウンドを広げるためには、専門分野だけに限らず他分野の技術動向や時事問題等についての幅広い知識を身に付け、広い視野に立って物事を判断することが重要となる。本講義では、工学分野を中心とした社会の技術、特に先端技術の紹介と経済問題、知的財産、特許など技術者として知っておくべき事項について紹介する。			
〔講義の概要〕 世界に通じる幅広いエンジニアとしての見識を得るために、各分野の専門家による最新技術や世界経済、知的財産権、特許などの紹介を行う。			
〔履修上の留意点〕 本教科では、専門分野の異なる複数の教員および外部講師がリレー形式で多様な話題について講義する。積極的に質問し、技術的視野を広げ、各自の今後の仕事や研究に活かして欲しい。			
〔到達目標〕 自ら問題意識を持ったエンジニアになることが望まれる。そのため、世界的視野に立った広い見識を身につけることが到達目標である。			
〔評価方法〕 レポート評価（80％）と授業中の質問等取り組み（20％）により行う。 レポート内容の不備なものについては、不可、または再提出させる。			
〔教科書〕 教科書は使用しない。適宜プリント資料を配付する。			
〔補助教材・参考書〕			
〔関連科目〕 専門科目全般。 内容は先端技術の話題であり専門外の内容については難しいが、幅広い知識を身につけるつもりで積極的に質問をする等取り組んで欲しい。			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	本講義の概要説明 (押田)	本講義の概要を説明するとともに、企業や大学院で専攻科 修了生に求められる事項、心構えなどを講義	
第2週	技術トピックス (1)	機械工学の最先端技術について (機械工学科教員)	
第3週	技術トピックス (2)	電子・電気工学の最先端技術について (電気工学科教員)	
第4週	技術開発と特許 (1)	技術と特許の関係について講義	
第5週	技術開発と特許 (2)	技術と特許の関係について講義	
第6週	技術開発と特許 (3)	特許利用法全般	
第7週	第一線エンジニアの 体験談 (1)	企業で製品開発されているエンジニアの体験談	
第8週	第一線エンジニアの 体験談 (2)	企業で製品開発されているエンジニアの体験談	
第9週	第一線エンジニアの 体験談 (3)	企業で製品開発されているエンジニアの体験談	
第10週	全般講義 (1)	企業における技術開発の現状と経験談を講義	
第11週	全般講義 (2)	企業における技術開発の現状と経験談を講義	
第12週	技術トピックス (3)	制御技術、メカトロニクスにおける最先端技術について (電子制御工学科教員)	
第13週	技術トピックス (4)	情報工学および関連分野の最先端技術について (情報工学科教員)	
第14週	技術トピックス (5)	化学工学、化学技術における最先端技術について (物質化学工学科教員)	
第15週	全般講義 (3)	工学関係一般の話題	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)